



2012年10月

【概要】

- 前を見すえて：国連機関によるポスト2015アジェンダのためのロードマップの作成開始
- 開発政策に関するフォーラム：欧州開発の日
- 21世紀の高齢化：国際公約実施に向けた進展に光を当てる報告書
- 有用なリソースとリンク

前を見すえて：国連機関によるポスト2015アジェンダのためのロードマップの作成開始

いつものことながら、ビジネスは現実的な選択肢とはならず、変革的な変化が必要とされる—これは、「私たちが万人のために臨む未来を実現させること」と題されたポスト2015開発アジェンダに関する国連機関タスク・チームが最初に出したレポートの中の重要なメッセージのひとつである。2012年1月に発足したこのタスク・チームは、50を超える国連機関の組織、またその他の国際組織から、そうそうたる専門家を集めたもので、ミレニアム開発目標(MDGs)に向けたプロセスのレビューおよび2015年国連開発アジェンダの輪郭の識別という国連ファミリー組織の共同努力を純粹に示すものである。タスク・チームの付託条項では、国連組織内で現在進行中の作業の評価、ポスト2015アジェンダについての組織全体としてのビジョンおよびロードマップの規定だけでなく、市民社会、学会、民間などを代表する様々な関係者ととも幅広いベースでの協議の予見や、よりよいやり方での将来の進路の計画なども構想している。

本報告書の著者らによれば、ポスト2015国連開発アジェンダの中心となる課題については、グローバリゼーションが現在、そして未来における世界中の全ての人々にとって前向きな力となることは確実である、とされている。これは決して簡単な作業ではない。輸送およびコミュニケーションにおける技術革新が、時間と距離という障壁の重要性を低下させていった中、貿易、投資、そして金融の国境を越えた流れは、かつては見られなかった多くの新しい機会を提供しつつ、国家経済をより密接に結びつけてきた。しかしながら他方、グローバリゼーションの恩恵は、きわめて不均等な形で分配され、シェアされ続けているのである。本報告書は、「紛争、飢餓、危険、暴力の状況の重要な決定要因、言い換えれば、人類の発展と持続可能な開発達成の努力を阻む重要な要因」の中の、リソースをめぐるしつこい不平等と争いの存在に取り組んでいる。消費、生産、そして資源利用のより持続的なパターンに向けた急激な変化がない限り、物質的な幸福への飽くなき追求が、天然資源ベースの限界を超えろという要因になる可能性がある。

人権、平等、そして持続可能性の核心的価値を、出発点と位置付け、「MDGsのフレームワークの強みの一つである具体的な最終目標と狙いに基づくアジェンダのフォーマットは、保

持されなければならない」ことを認め、本報告書は、きわめて相互依存的な既存の課題への取り組みを必要とする、より包括的なアプローチの4つの重要な側面を提唱している。国連ミレニアム宣言の原理原則とも一致するこれらの側面は、以下のとおりである。

- 1) 包括的な社会開発
- 2) 包括的な経済発展
- 3) 環境の持続可能性
- 4) 平和と安全

MDGsのようなグローバルな目標が持つ改革の力を、また開発努力、取り分け貧困撲滅への努力を世界的にも全国的にも活性化するそれらの役割を強調しつつ、本報告書の著者らは、MDGsの欠点もまた認めている。本報告書の言によれば、MDGsは「生産的な雇用、女性に対する暴力、不平等、社会的排除、生物多様性、根強い栄養失調と伝染性疾患の増加、リプロダクティブ・ヘルスおよび人口動態に関連する複雑さ、平和と安全保障、ガバナンス、法の支配と人権」に適切に取り組まなかった。「最終的な目標に焦点を当て、MDGsの枠組みはそれらを達成するための手段としてのガイダンスをなんら提供しなかった。」その結果、開発のためのグローバルなパートナーシップに関連するいくつかの目標および目的が、「どちらかといえば不正確であり、それにより、MDGsの枠組遂行のために約束された国際支援のための説明責任を弱めた」と決めつけられ、結局は国際社会による公約の多くが、達成されないまま残ってしまったのである。本報告書は、「予測可能な開発金融への不十分なアクセス、輸出マーケット、技術および医療」など、開発途上国における持続可能かつ包括的な開発に対するいくつかの重要な制約を識別している。

作業部会はまた、MDGsの草創期におけるいくつかの欠点を認めた。まず第一は、概念化と定式化の初期段階における不十分なコンサルテーション・プロセスである。それにより、「より包括的なプロセスが、グローバルな目標および目的を各国の事情に合わせることの必要性に対するよりよい理解を引き出せたかもしれなかった」のである。学習したからには、ポスト2015アジェンダに関する進行中の作業においては、これらの欠点を回避すべきである。

既存のグローバルな相互依存のコンテキストにおいては、地元の状況に合わせた目標調整に必要なだけの柔軟性を持たせようとして、国際社会が追い求めるべき共同の目標や目的を設定することはもっともであり、これは参加型のプロセスを通して最善となる。報告書には、「ポスト2015国連開発アジェンダは、数多の開発アジェンダの究極の目的として、人類の発展および貧困撲滅への焦点を維持すべきである。」とある。しかし、アジェンダはまた、現代世界の幾多の課題にも応えなければならない。例えば、根強い不平等との闘い、平和と安全保障の促進、よきガバナンスと説明責任、高齢化と国際移民への取り組み、世界的な都市化および環境悪化、知識の分かち合いの促進などである。提案されたロードマップは、ポスト2015国連開発アジェンダ作成の努力において、会員国への支援と連動する2段階のアプローチに固定されている。第1段階は、幅広い関係者からの貢献を重視して奨励することを目的とした、開かれた包括的で透明なコンサルテーション・プロセスの促進に向けたものである。

そして第 2 段階は、開かれた包括的なプロセスを維持しつつ、ポスト 2015 アジェンダについて政府間の合意を取り付けるための努力の強化に向けたものである。

詳しくは以下を参照のこと。

<http://www.undp.org/content/undp/en/home/librarypage/poverty-reduction/realizing-the-future-we-want/>

開発政策に関するフォーラム：欧州開発の日、2012 年 10 月 16～17

欧州委員会によって設けられた「欧州開発の日 (European Development Days : EDD)」は、EU の国際情勢と開発協力に関する重要なフォーラムとなり、10 月半ばにブリュッセルにおいて、何千人もの提唱者、意思決定者、実践者が一堂に会した。EDD は、毎年ディベートやアイデア／基準／優良事例の交換、開発コミュニティ内、とりわけ『北 - 南』協力や『南 - 南』 協力に関わっている他者との邂逅を期待している参加者の中でのネットワーク作り推進、および新しいパートナーシップ構築のための、重要なプラットフォームとしての役割を引き受けている。今年の 2 日間の会議では、3 つの優先テーマが中心となった。すなわち、食と栄養の安全、包括的な成長、そして民間部門の開発へのかかわりである。パネルでは、斬新なアイデアを取り入れ、オプションや妥協点を検討しながら、アジェンダ等についての広範囲にわたる問題が模索された。アジェンダおよびパネルについての詳細は以下を参照のこと。

<http://eudevdays.eu/>

【議論された優先テーマ】

● 食の安全

食の安全は、EU の開発協力のアジェンダ上に堅調に表れている。議論のために主催者側が用意した、持続可能な農業および食と栄養の安全の背景説明によれば、多くの開発途上国において状況は極めて厳しい。世界中の人口の 16% が飢餓に苦しみ、貧困のうちに生きている。こうした人々の殆どが辺境地に住み、そうした場所では、気まぐれな気候、土地と水の熾烈な競争、肥料や燃料の価格高騰に左右される農業、それも専ら小規模農業が、主たる経済活動である。飢餓との闘いにおいて、災害のリスク・マネジメントは明らかに優先されるべきものだが、多くの場合、そうではなかった。普遍的な食の安全を達成することは、政治的安定や社会福祉および経済成長を支えるものであり、多くの観点からみても最も重要である。開発途上国における生産をスケールアップするための潜在的な可能性は多くある。小さなホルダーセクターへの投資が、コミュニティの弾力性を築き、貧困削減と成長の面で最高に大きな利益を生むことは幾多の証拠が示している。詳細は以下を参照のこと。

<http://eudevdays.eu/edd12/topic/food-security>

● 包括的かつ持続可能な経済成長

包括的かつ持続可能な経済成長は、長期的な貧困削減達成と密接に結びついている。EUの開発政策は、そのために、参加する人々の能力によって特徴づけられ、また利益を得る、より包括的な成長、そして富と仕事の創出の促進を目指している。包括的な成長のための人々の権利拡大は、政治的安定、よきガバナンス、安全保障、人権への敬意、役に立つ規制やビジネス環境、十分な教育を受けた健康で創造的な国民等を含む、数多の前提条件を必要とする。その他の要因としては、稀少天然資源の持続可能な利用、経済インフラ、中核的な労働基準の履行、国際貿易における効果的かつ有益な参加等を含む。貧しい人々や弱い立場の人々の金融へのアクセスを促進すること、また社会保護を強化し、汚職と戦うこととともに、しつこい貧困に真っ向から対峙することも不可欠である。若者の失業に関しては、多くの国々で取り分け憂慮すべき状況であることを踏まえ、将来若者たちが発言権を持つことを確実にするという制度と、教育および訓練プログラムを組み合わせることが必要である。詳細は下記を参照のこと。

<http://eudevdays.eu/edd12/topic/inclusive-growth>

● 民間部門

民間部門は、成長を包括的にするための駆動力となり得る。この目標は、貧しい人々のニーズに狙いを定めた技術革新やビジネスモデルに投資するとともに、生産的でまっとうな仕事を作り出すことから始まる、様々なやり方によって達成される。開発パートナーとして民間部門と手を組むことは、国や賛助国政府および多国間組織にとっては比較的新しいコンセプトである。開発途上国や後発開発途上国のほとんどにおいて、民間部門開発の土台が脆弱であることを踏まえ、国や賛助国政府は、法制改革を行い、官民協力を促進し、そして模倣が容易で商業的に持続可能なビジネスモデル構築を奨励することが不可欠であろう。詳細は以下を参照のこと。

<http://eudevdays.eu/edd12/topic/private-sector>

21世紀の高齢化：国際公約実施に向けた進展に光を当てる報告書

「人口の高齢化は、もはや無視することはできない」

潘基文国連事務総長は、『21世紀の高齢化：祝福すべき成果と直面する課題』と題された新しい総合報告書の巻頭言で、このように述べている。この報告書は、国連人口基金とヘルプエイジ・インターナショナルとが合同で作成したものである。国連事務総長の所見は、内容および考察の骨子をよく捕えている。人口の高齢化は、グローバルな意味を持つ最も重要なトレンドの一つである。

本報告書は、人口高齢化の速さについて、またより一般的には、現代世界において「老いる」というのはどういうことかについての認識を高めることを模索している。出生率及び死亡率は、世界中で減少しつつある。寿命が延びる、ということは、間違いなく、現代社会の偉大なる成果のひとつであり、より長く、より健康的な生活を送る人々が関わりを持つ機会がごまんとある。しかし、こうした歓迎すべき機会は最大化する必要がある、また高齢化は

多くの開発対応を必要とするのである。

この具体的証例に基づいた報告書は、人口高齢化に関連する重要な側面に焦点を当てている。すなわち、人権、所得保障、健康問題、高齢化にやさしい環境、社会的排除などである。高齢化に関する世界的な調査の結果も紹介され、また分析されている。

要旨については、アラビア語、中国語、英語、仏語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、およびベトナム語で閲覧可能。フル原稿については以下を参照のこと。

<http://unfpa.org/ageingreport/>

有用なリソースとリンク

- アフリカ開発フォーラム

第8回アフリカ開発フォーラム（ADF VIII）は、エチオピアのアジス・アベバにおいて、人々を中心とした開発を促進すべく、自分たちの天然資源の使用においてアフリカ諸国を支援するための方法を示唆する合意声明を採択し、閉会した。

<http://new.uneca.org/adfviii/AboutADFVIII.aspx>

- 列国議会同盟総会

列国議会同盟のメンバーは、カナダのケベックで行われた第127回総会で、各国機関がジェンダー的平等に取り組む方法のラジカルな転換を目的とした、ジェンダーに配慮した議会についての総合的かつ野心的な行動計画を約束した。第127回総会の潜在的に遠大な成果である行動計画は、優遇政策（アファーマティブ・アクション）を通して議会に対する女性のアクセスばかりでなく、議会内における役割やランク付け、法的枠組み、議会内のジェンダー的インフラおよび文化における男女平等にも取り組んでいる。この件に関しては、政党の関与も必要である。

本ニュースレターの内容の引用・転載は、出展を明らかにする限り自由です。本ニュースレターに掲載された見解は、必ずしも ICSW の方針であるとは限りません。

編集：ICSW 常務理事 セルゲイ・ゼレネフ

ICSW 連絡先

P.O.Box 28957, ICSW

Plot 4, Berkeley Lane, Off Lugard Avenue

Kampala

Uganda

Website: www.icsw.org

Email: szelenev@icsw.org、icsw@icsw.org

Tel: +256 414 32 11 50, +1 718 796 7417

※ ニュースレターの配信停止をご希望の方は、お名前とメールアドレスをお知らせください。